

平成30年11月27日
宿毛漁業指導所

関係者各位

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、環境調査と並行し、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮発生の原因種であるプランクトンは確認されませんでした。アカシオ サンガイネアが最大0.03細胞/ml、プロロセントラム属が最大0.36細胞/ml確認されました。当プランクトンは基本的には無害なプランクトンですが、細胞数が急激に増加すると周囲を貧酸素状態にし、魚介類を弱らせてしまう可能性があります。

また、麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最大0.2細胞/ml、ギムノディニウム カテナータムが最大0.12細胞/ml確認されました。

今後、飼育魚や海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	溶存酸素 (mg/l)	アカシオ サンガイネア	プロロセントラ ム属	アレキサンドリウム属	ギムノディニウム カテナータム
片島(別図⑦) 採水時間 9:12 透明度 4.5 m	2.0	18.9	33.7	5.9	0	0.36	0.08	0
藻津②(別図⑩) 採水時間 9:27 透明度 13.5 m	2.0	20.4	34.3	6.1	0	0	0	0
藻津①(別図⑨) 採水時間 9:34 透明度 12.0 m	10.0	20.3	34.3	6.3	0	0	0	0
大島中央①(別図⑤) 採水時間 9:48 透明度 12.5 m	5.0	20.5	34.3	5.9	0	0.02	0	0
小筑紫中央①(別図⑬) 採水時間 9:55 透明度 14.5 m	5.0	20.6	34.3	6.1	0	0.01	0	0
真珠 採水時間 10:04 透明度 12.0 m	2.0	20.4	34.3	6.3	0	0.02	0	0